

名刺こうかん会②と世界の子ども

単元の位置	1 SO	2 SO	3 YT	4 YT	5 EC◎	6 EC◎	本時 7 OH	8 OH◎
-------	------	------	------	------	-------	-------	---------	-------

前時：第6時 名刺こうかん会①（前半グループ）と中間指導（◎思判表）／次時：第8時 パフォーマンステスト（先生と1対1）

この時間を3行で ① きくワークで世界の子どもの「すき」を聞き、後半グループが名刺こうかん
② 英語で言うのは太字だけ（台本の枠・読み上げ例も太字）。ほかは日本語でよい
③ ○相手の答えに反応を返してから次へ行っているか

本時の目標	友だちのことをよく知るために、名刺を渡しながら名前・つづり・好きなものを伝え合って反応を返すとともに、世界の子どもの自己紹介を聞いて、名前と好きなものを聞き取ることができる。（知識・技能／思考・判断・表現）
めあて	名刺こうかんで、友だちのすきに反応を返そう
評価	本時は記録に残す評価を行わない（○17-24 相手の答えに反応を返さずに次へ行く子（全員を見渡す））

太字＝英語で言う／ふつうの字＝日本語でよい ・留意点 ◇全員へ ◆止まった子へ ◎記録 ○指導に生かす ▶スライド □ 紙 ⇒2＝2ページ目

分・形態	学習活動（S：予想される反応）	先生のことば	留意点・評価・▶〔紙〕
0-5 全体	あいさつ。教科書の歌（デジタル教材）のあとスライドショーへ。	T Hello, everyone! How are you? みなさん、こんにちは。	▶S1
5-10 全体	帯：歌／アルファベット帯 アルファベットの歌→先生が絵カードの語を1文字ずつ言う（S-O-C-C-E-R）→どの絵か指さす。	T つづりを聞いて、どの絵か指さそう。	▶S2-3 ・つづりは書かない。聞いて指させばよい
10-15 ひとり	きくワーク1：世界の子ども3人の自己紹介を聞き、好きなものに○（1人2回ずつ）→答えを確かめる。	T Just listen. （1回目）聞くだけ。 T Now, circle! （2回目）○をつけよう。	▶S4-5〔きくワーク〕 ・好きなものが1つ聞き取れば十分と先に伝える ⇒2
15-17 全体	めあてを読む。後半グループ（5～8班）がこうかん、前半（1～4班）は「いい反応みつけ係」。	T 今日は後半グループ。前半グループは、いい反応を見つけてね。	▶S6
17-24 後半：1対1 ／前半：席	1回目。後半グループが2人と交換する。前半グループは席で、いいと思った反応のことばを1つ覚えておく。	T Exchange cards with two friends. 2人と名刺をこうかんしよう。	▶S7-8〔活動シート3〕 ○反応を返さずに次へ行く子（記録しない） ◇見つけ係はだれのかは言わない
24-28 全体→となり	言えなかったことを日本語で（後半の班で1つ選び、2班が言う）。見つけ係も反応を1つ→黒板の右か補給表の英語を2回ずつ言う。	T What did you want to say? Japanese is OK. 言いたかったことは？日本語でいいよ。	▶S9-10〔進行台本〕 ・第6時に補給したことばにあれば、黒板の右を指さして読むだけでよい
28-33 後半：1対1 ／前半：席	2回目。後半グループがもう2人と交換する（前半は見つけ係を続ける）。使えそうなら、補給したことばを1つ使う。	T Use a new phrase if you can. 使えそうなら、新しいことばを1つ。	▶S11〔活動シート3〕
33-37 全体	席にもどる→先生の Small Talk（クラスみんなのすき）を聞いて、自分も好きなら Me, too! と返す→次の時間はテストと聞く。 S: Me, too! / I like P.E., too!	〔台本②話題2〕 T Hello! Big news! I know your favorites now! T Dodgeball! Ice cream! And... P.E.! Many friends like them!（子：Me, too! / I like P.E., too!） T We know each other now! Next time, we have the final interview. Let's have fun! 進め方：3つは活動シートでよく出たもの。だれが好きかは言わない	▶S12-13〔台本②〕 ⇒2
37-45 全体→ひとり	後半グループは、もらった名刺メモを書く→全員が振り返りカードの毎時間の欄に1行。	T 友だちのすきを、1つ知れたかな。 T Good job! See you next time. よくがんばりました。	▶S14-15〔振り返りカード〕

第7時 評価・板書・準備（前の日に読む面）

評価 本時は指導に生かす評価

本時は記録に残す評価を行わない。
○17-24 相手の答えに反応を返さずに次へ行く子（全員を見渡す）→24-28 で、黒板の右の補給と見つけ係の反応から1つ選んで全員で言う（その場の手立て：止まった組で、先生が I like に Me, too! と返して見せ、同じ相手ともう1回）
評価に入れないこと：きくワークの答えの正しさ／交換した人数・名刺の出来／すきなものの中身／声の大きさ・目線・挙手

展開の補足 1ページ目の「⇒2」

10-15 ・読み上げ文は「きくワーク」の先生用ページ。ボーナスは時間があれば
33-37 ・テストは「今日までと同じやり取りを、先生と1人ずつ」とだけ伝える。こわがらせない
補給表（日本語→英語・進行台本と同じ）：もう一回言って→One more time, please.／ゆっくり言って→Slowly, please.／わたしも！（同じのが好き）→Me, too!／いいね！かっこいい！→Nice! / Cool!／（名刺を）どうぞ→Here you are.／もらってうれしい！→Thank you! I'm happy!／先生の名前もたずねたい→How do you spell your name?／またね！→See you!

板書計画

左	中：会話の型	右：ことばの補給（第6時から）
日付・第7時 めあて	Hello! I'm H-A-N-A. I like How about you? Here you are. — Thank you! Me, too! / Nice! / Really?	I like ~, too! (Small Talk で書いた1文) (第8時のテストまで消さない)
黒板の横：キーフレーズポスター（第1時から） テレビ（映すだけ）：きくワークの答え・グループの分け方（映すだけ） 書かないもの：交換した人数・名刺の枚数／児童の名前		

ALT

いるとき：・きくワークの読み上げ（読み上げ文は「きくワーク」の先生用ページ）
・友だちの1人として、後半グループの名刺こうかんに入る（記録はつけない）
いないとき：・きくワークは先生がゆっくり2回ずつ読む
・Small Talk は台本のまま先生1人で
ALT に頼まないこと：Please don't say who likes what in Small Talk.
評価は担任がします。ALT に記録はつけてもらいません。

この時間の配慮 3つの点検

家：世界の子どもの自己紹介は、国の名前まで。旅行や海外の経験は聞かない
くらべる：Small Talk の「クラスのみんなのすき」に順位をつけない。人数も、だれが好きかも言わない
目立つ：見つけ係は名前を言わない。きくワークの答え合わせは全体で（1人ずつ言わせない）
単元計画の配慮①：台本の英語は「聞いてまねる」が基本。読みを強いない
単元計画の配慮③：ペアは「話す相手を自分で選べる回」を1回は作る

時間が足りないとき

削る順：①きくワーク（10-15）は1だけにして、ボーナスは朝の時間へ
②中間指導（24-28）は、黒板の右を指さして読むだけにして2分で
削らないもの：後半グループの名刺こうかん（17-33）
前の時間が終わっていないとき：第6時の2回目が終わっていないければ、きくワークを朝の時間に回し、10-15 で前半グループの2回目を短くする

準備物

- ☐ 「きくワーク」 人数分（先生用の読み上げ文つき）
- ☐ 「活動シート3」 人数分（後半グループの名刺4枚とメモ）
- ☐ 「活動シート3の進行台本」 先生用1部
- ☐ 「Small Talk台本②」 先生用1部
- ☐ 「絵カード」 提示用1部（Small Talk で3枚はる）
- ☐ 「キーフレーズポスター」 掲示
- ☐ 教室のタイマー 1
- ☐ 「振り返りカード」 人数分（単元を通して同じ紙）